第4 胆振管内自治体の助成や補助に関する情報収集

1 情報収集の背景・目的

胆振管内の各自治体で実施している、外国人材の受入・定着に関わる事業や補助についての情報収集を行った。令和７年度に実施されている各市町の外国人材支援に関する事業の情報や、外国人労働者への取り組み、課題意識について調査した。

また、洞爺湖町、登別市、登別市商工会議所、白老町については令和7年8月28日（木）に訪問しヒアリングを実施した。

2 情報収集 実施概要

調査方法	ヒアリングシートの送付、一部訪問を実施してのヒアリング
調査対象	胆振管内の11市町、室蘭商工会議所、登別商工会議所 【訪問を実施した対象先】 洞爺湖町、登別市、登別商工会議所、白老町（いずれも2025年8月28日訪問）
調査期間	2025年8月～10月にかけて実施

3 情報収集 結果概要

[企業からの声]

●外国人労働者に対しては、複数の業種から「真面目で働きぶりが良い」といった肯定的な評価が多く寄せられている一方、既に受入を行っている企業では、現場での「言語面のコミュニケーション」が主要な課題として顕在化しているようだ。

●受入が未経験の企業では、「在留資格や法令に関する手続きの不明確さ」や、「受入にかかるコスト」などに対しの障壁を感じているようだ。

[地域からの声]

- 外国人住民の増加に伴い、地域からは「将来的な治安の悪化や住民間トラブル」への懸念の声がある他、具体的には「ゴミ出しルールや分別」、「騒音」など、生活習慣の違いに起因するものが多く、地域との共生が課題となっている。
- 一部では、特定の行動様式（例：公共施設での物品廃棄やキャンプ場でのマナー違反）が住民の不満につながる事例や、外国人男性に対する心理的な抵抗感を示す声も聞かれた。一方で、地域活動への協力などを通じて良好な関係を築いている事例もあるようだ。

[現場（医療、教育）]

- 医療・介護分野では、外国人介護職の受入が進む一方で、「住居確保や支援機関への支払い」といった費用負担が課題として感じられる。また、「医療介護の専門用語の難しさ」に起因する言語理解不足が、外国人労働者の定着を妨げる要因と言える。
- さらに、せっかく法人独自で研修を実施しても、短期間で離職するケースが多いという声もあった。
- 教育面では、外国人労働者の家族帯同による児童・生徒の増加が見られ 、学校現場では「来日直後の日本語教育の必要性」を感じている。また、文化的な違いへの配慮と対応が教育現場での新たな課題と言える。

[日本語教育]

- 日本語教育の支援は、その必要性が認識されているにもかかわらず、「企業規模による対応力の差」が課題となっており、大企業での対応は可能でも、小規模事業者では困難な状況に置かれている。また、行政側も「人員不足」により体系的な支援が難しいという実情がある。
- 今後は、地域日本語教室の継続運営や、「地域住民との交流を兼ねた学習機会の提供」が重要となっていくことが予想される。

[自治体としての関わり、今後の施策など]

- 一部の自治体では、企業ニーズを踏まえた具体的な支援策を打ち出しており、多文化共生の意識醸成の取り組みが進行中。また、地域全体での支援体制整備として、商工会議所が登録支援機関に登録し、自治体と民間の連携強化を図る動きもある。
- これらの取り組みを通じて、外国人雇用を企業にとって現実的な「選択肢」として周知し、意識改革を促す必要性があり、今後も企業ニーズの把握などの調査検討を進めていく必要があると言える。

第5 セミナー&パネルディスカッション

1 セミナー&パネルディスカッション 実施概要

胆管内の人手不足が深刻な課題となっているとともに、国内人口減少を歯止めがかからない中で、人手不足の解消に向け、外国人材の呼び込みを図るため、管内事業者に対し外国人材受入に向けた制度や新たな動向などの最新情報を提供するセミナー及びパネルディスカッションを実施した。また管内自治体との連携もあり、胆振総合振興局、室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、弊社の主催で実施する運びとなった。

主催	胆振総合振興局、室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、キャリアバンク株式会社
実施日時・会場 （どちらも対面）	【苫小牧】 2025年12月3日(水) 13:30～16:00 （東胆振地域） 開催場所：苫小牧市役所 9階会議室
	【室　蘭】 2025年 12月10日(水) 13:30～16:00 （西胆振地域） 開催場所：胆振総合振興局（むろらん広域センタービル）3階A～C会議室
申込者	【苫小牧】 23社／25名　　【室　蘭】 21社／24名
参加者	【苫小牧】 19社／22名　　【室　蘭】 19社／24名
パネルディスカッション 登壇企業・団体	【苫小牧】 株式会社白老フーズ様、株式会社ホテルニュー王子様、 株式会社久恵比寿様、株式会社縁日様、苫小牧市様
	【室　蘭】 株式会社白老フーズ様、農業協同組合（JAとうや湖）様、 野口観光ホテルプロフェッショナル学院（野口観光グループ）様

2 当日のプログラム

第1部 セミナー 90分 13:30～15:00	講師：当社 取締役／海外事業部 部長 【内容】管内の外国人材に関する傾向や課題などについて解説 ―外国人労働者の現状・在留資格制度の基礎知識 ―外国人材に関する傾向や課題、採用方法と注意点 ―外国人職場定着のポイント ―主な受入国の特徴、受入準備など ―外国人受入環境整備の現状と今後
第2部 パネルディスカッション 50分 15:10～16:00	進行（両日）：当社 取締役／海外事業部 部長 【内容】先進的に取り組まれている管内事業者などの実体験や課題等

3 当日の様子

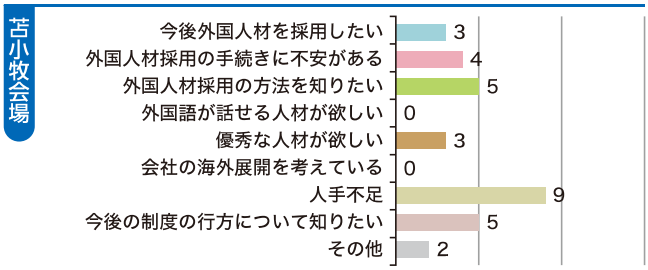
●苫小牧会場 セミナー・パネルディスカッション

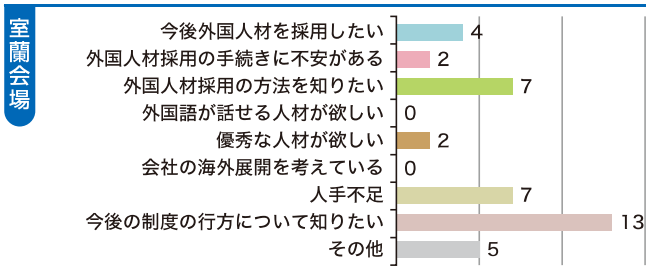
●室蘭会場 セミナー・パネルディスカッション

4 まとめ

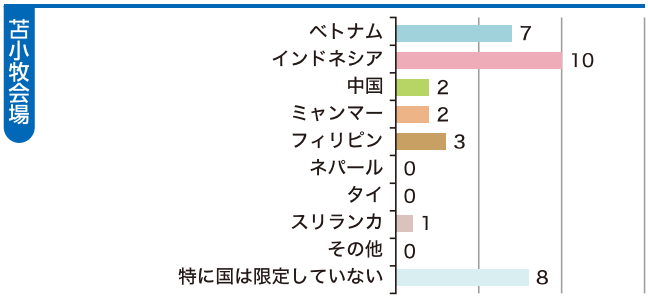
その他、セミナー参加者へのアンケートより、主な項目と回答を以下に記載する。

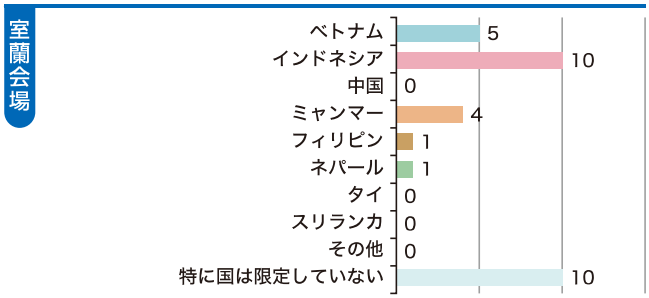
●セミナーの参加理由(複数選択可)　苫小牧では「人手不足」、室蘭では「今後の制度の行方について知りたい」が最多。



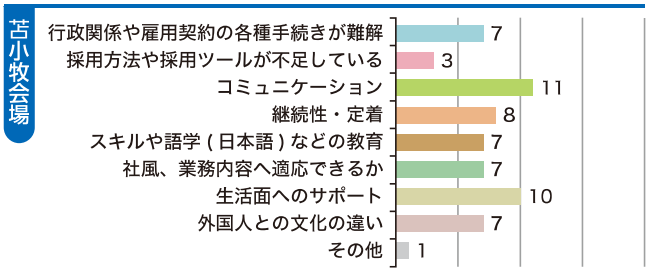


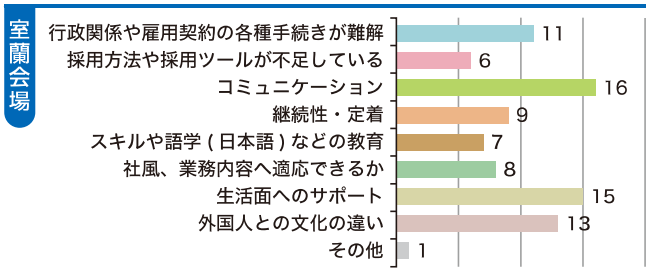
●関心のある国・地域(複数選択可)　両会場ともインドネシアとベトナムの回答が多く、「特に限定していない」との回答も多数。





●外国人雇用に対する不安(複数選択可)　両会場とも、「コミュニケーション」「生活面でのサポート」が上位。





第6 総　括

管内事業者へのヒアリングを通じ、外国人材に対しては一貫して高い評価が見られた。多くの事業者が「真面目で働きぶりが良い」「仕事熱心」と評価し、人手不足が深刻化する中で、既に外国人材が事業の継続に不可欠な存在となっていることは共通認識のようだ。定着に成功している先行事例を見ると、居住空間の整備や、移動手段の確保、宗教・文化への配慮、日本語教育のサポートなど、職場環境だけでなく生活環境に対しても手厚い支援を実施している。その一方で、地域住民からは、「言葉の壁によるコミュニケーション不足」「生活習慣の違い」「騒音やゴミ処理などの地域マナー」に関する懸念が散見された。外国人材が職場だけでなく地域に定着するには、企業の生活・労働環境の整備だけでなく、地域住民の異文化への理解も求められる。

2027年４月より始まる「育成就労制度」では、人材の育成とキャリアパスを明確化し、特定技能制度への円滑な移行を促す設計となっており、従来の技能実習に比べて外国人材の職業選択の自由度を高め、労働市場の流動性が高まるだろう。これにより、外国人材は日本国内で企業や地域を「選ぶ側」へと立場がシフトする。今後は賃金や労働条件といった雇用条件の優劣だけでなく、いかに手厚く育成し、特定技能２号や永住権といった明確なキャリアパスを示せるかが、企業にとっての課題となる。地域全体としても、制度改正の波を好機と捉え、外国人材を単なる労働力として「消費」するのではなく、地域社会の未来を共に築く「長期的なパートナー」として捉える意識が必要だ。

人材の流動化が進む中で、外国人材の採用活動は、都市部を含む全国の企業・地域間で激化していくことが予想される。その競争において、差別化要因の一つとなるのは「この地で働きたい、住みたい」と思わせる「地域の魅力」ではないだろうか。豊かな自然、地域住民の温かさ、安心して子育てができる教育環境など、胆振地域の魅力を、ターゲットとなる国や人材のニーズに合わせて発信することも、人材定着の一つの鍵となり得るだろう。この「地域の魅力」を戦略的に発信するには、外国人材を送り出す最前線である日本語学校の関係者や、実際に生活する留学生等へのヒアリング等も有効かもしれない。

外国人材の採用と定着においては、「企業」と「地域」がそれぞれ役割分担をし、協働していくことが必要だ。まず企業は、「採用・定着支援の標準化」が求められる。特に中小企業においては、自社だけで全てを賄うのは難しく、ノウハウを行政や関係団体が支援し、コスト負担を軽減する仕組みが重要だ。行政と地域は、「地域定着のための魅力発信と仕組みづくり」が必要だ。行政が主体となり、言語や生活習慣の違いから生じる住民間のトラブルを未然に防ぐための情報提供や、文化交流の場を継続的に設けることで、外国人材が安心して生活できる環境を醸成することができる。これらの取り組みを両輪で強化し、企業と行政、地域社会全体で外国人材を迎え入れ、「持続可能な受入・定着体制」を確立することが、胆振地域における外国人材定着の近道ではないだろうか。

巻末 参考資料

本事業の広報活動について、参考資料として記載いたします。

実施した広報活動	
広報紙：室蘭市、苫小牧市、伊達市	**LINE投稿**：室蘭市、苫小牧市、登別市
HP掲載：室蘭市、苫小牧市	**SNS（X、Facebook）**：室蘭市、登別市

広報紙／室蘭市、苫小牧市、伊達市

●室蘭市／広報むろらん11月号

●苫小牧市／広報とまこまい11月号

●伊達市／広報だて11月号

HP掲載／室蘭市、苫小牧市

●室蘭市

https://www.city.muroran.lg.jp/bbs/detail.html?content=2140

●苫小牧市

https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kanko/kosho/rodokoyo/rodo/20251203.html

LINE投稿／室蘭市、登別市、苫小牧市

●室蘭市

●登別市

●苫小牧市

SNS（X、Facebook）／室蘭市、登別市

●室蘭市

X

Facebook

●登別市

Facebook